



榊

(1) 西町による布袋

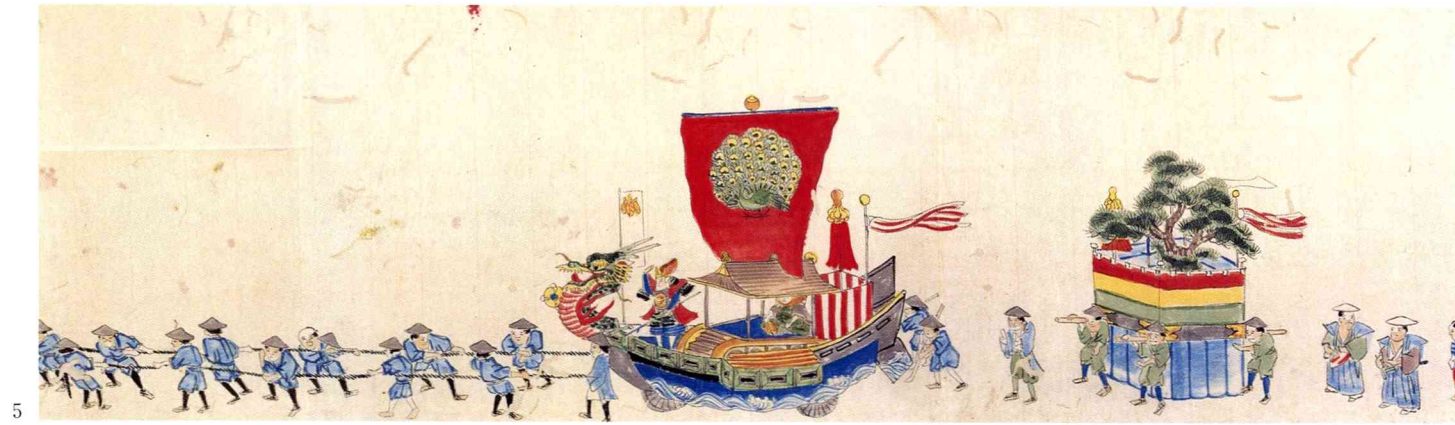


(2) 釜屋町による山伏



(3) 萬町による屋形船





5



6

(4) 立町による海人玉取



7

(5) 中町による草刈



8

(6) 大門町による融



9

(7) 蔵町による菊慈童



10



11

(8) 宿屋町・中ノ番町による聖



12





(9) 地頭領町に



よる邯鄲



(10) 大世古による小鳥威し



(11) 築地町による風流石橋



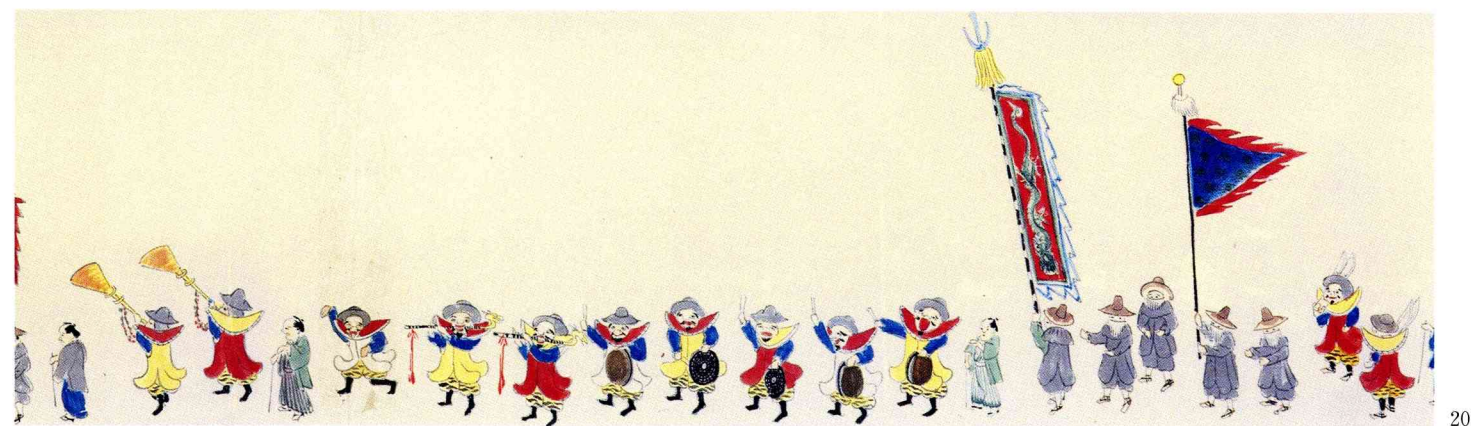
(12) 山之世古町による出世山姥



(13) 新魚町による八千代獅子



(14) 分部町による唐人





21



(15) 東町による狸々

22



(16) 新中町による江口

23



(17) 堀川町による海處女汐汲

24



(18) 浜魚町による傘鉾

25



(19) 伊予町による母衣指

26



27



7

28



鐘

弓

6





唐櫃

獅子

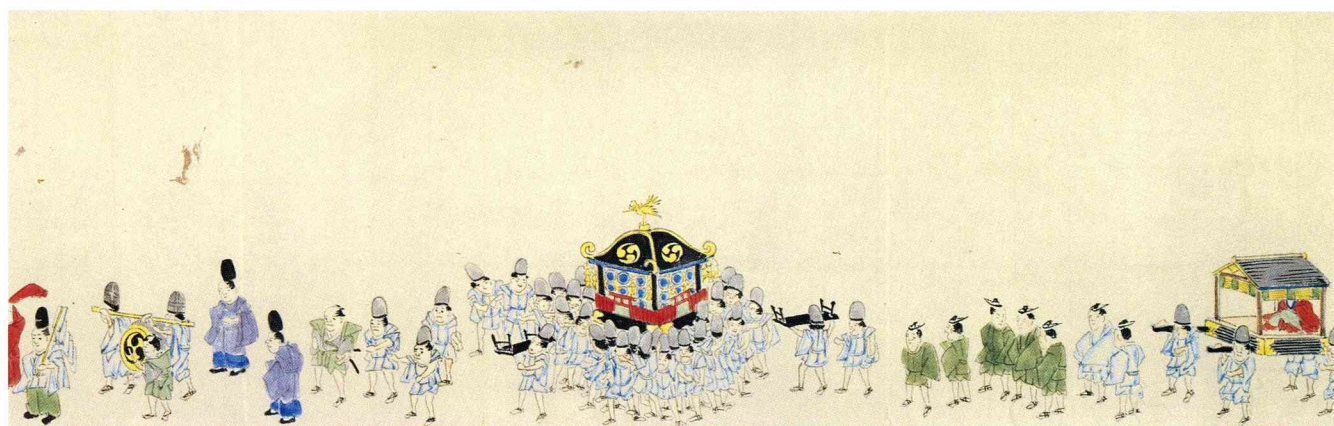
市(巫女)

稚児

鉦

禰宜

29



神輿

別当寒松院

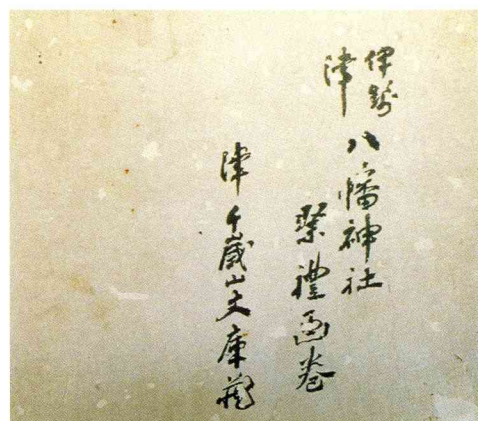
30



神主丹後

鐘

31



伊勢  
津

八幡神社

祭礼画卷

津千歳山文庫蔵

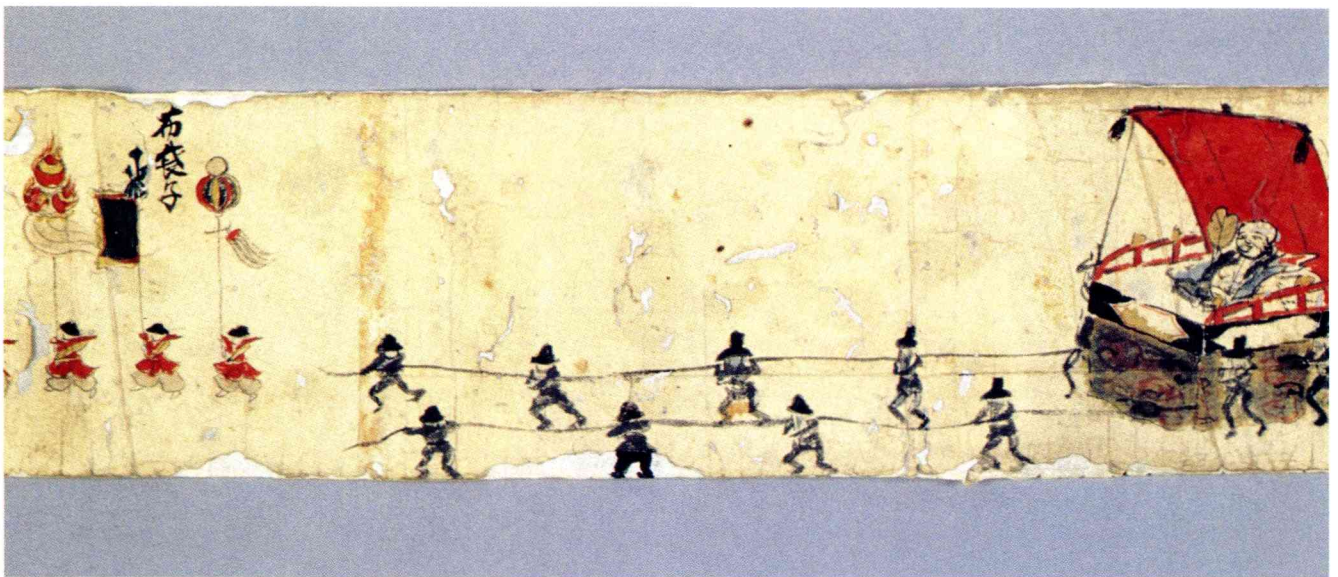
32





①

(1) 西町・塔世町による布袋



②

布袋子



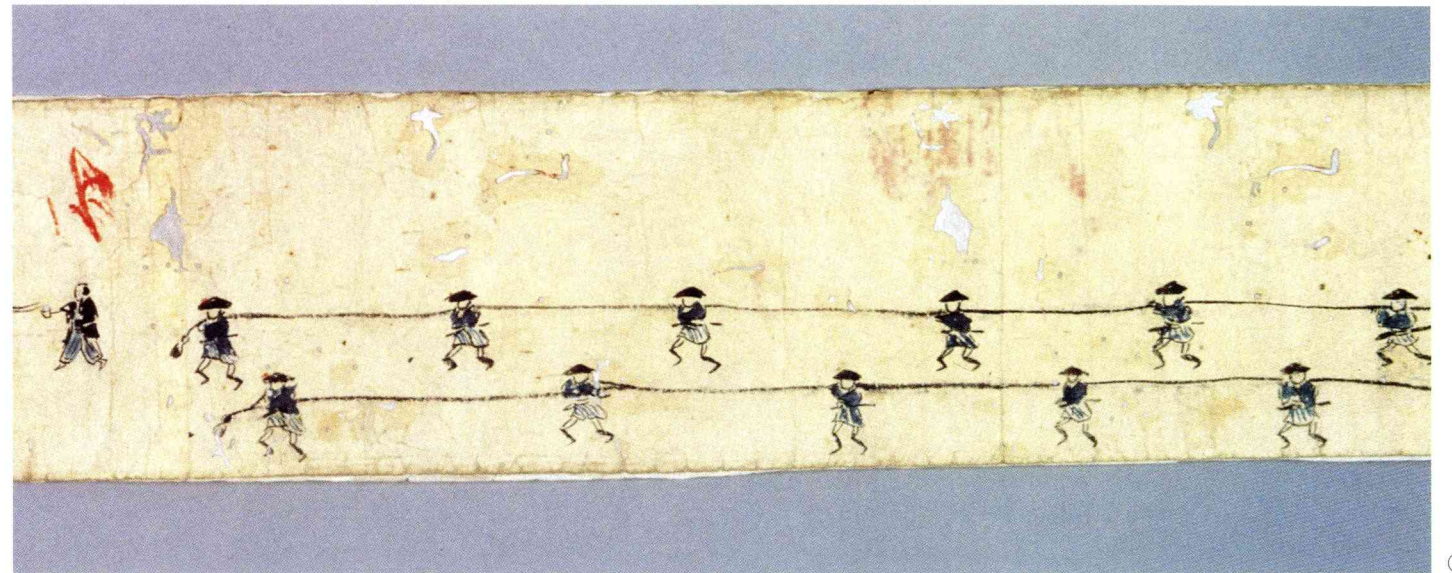
③

(2) 釜屋町による山伏

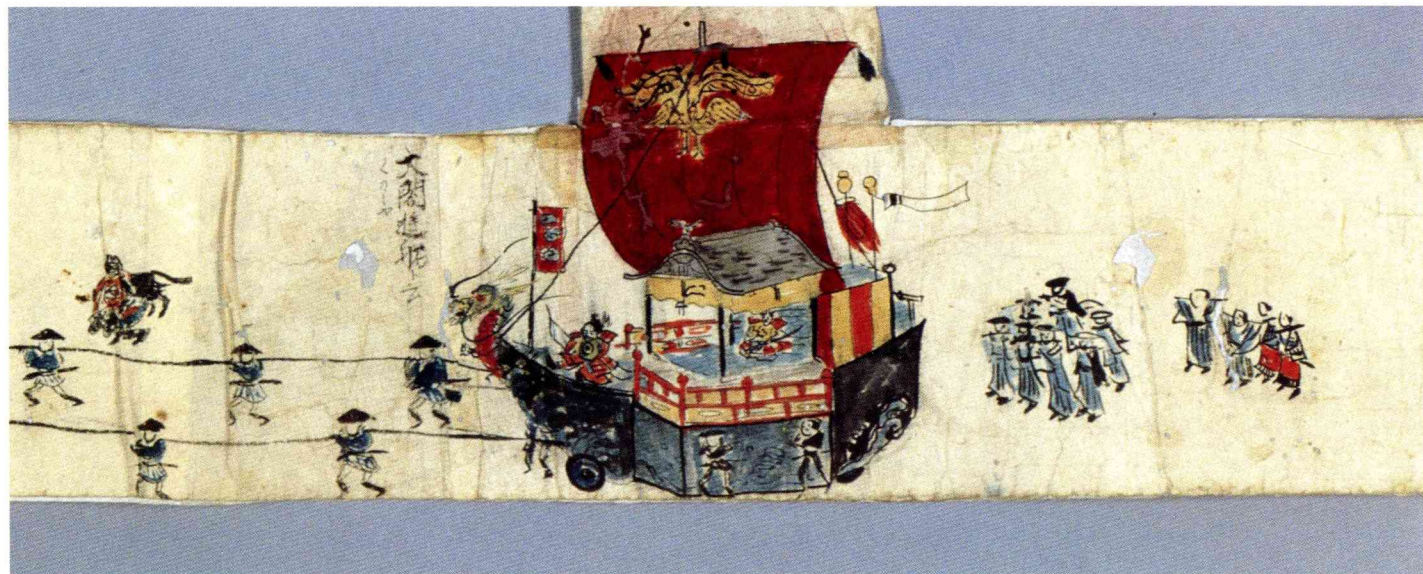




④ (3) 萬町による太閤進舵



⑤

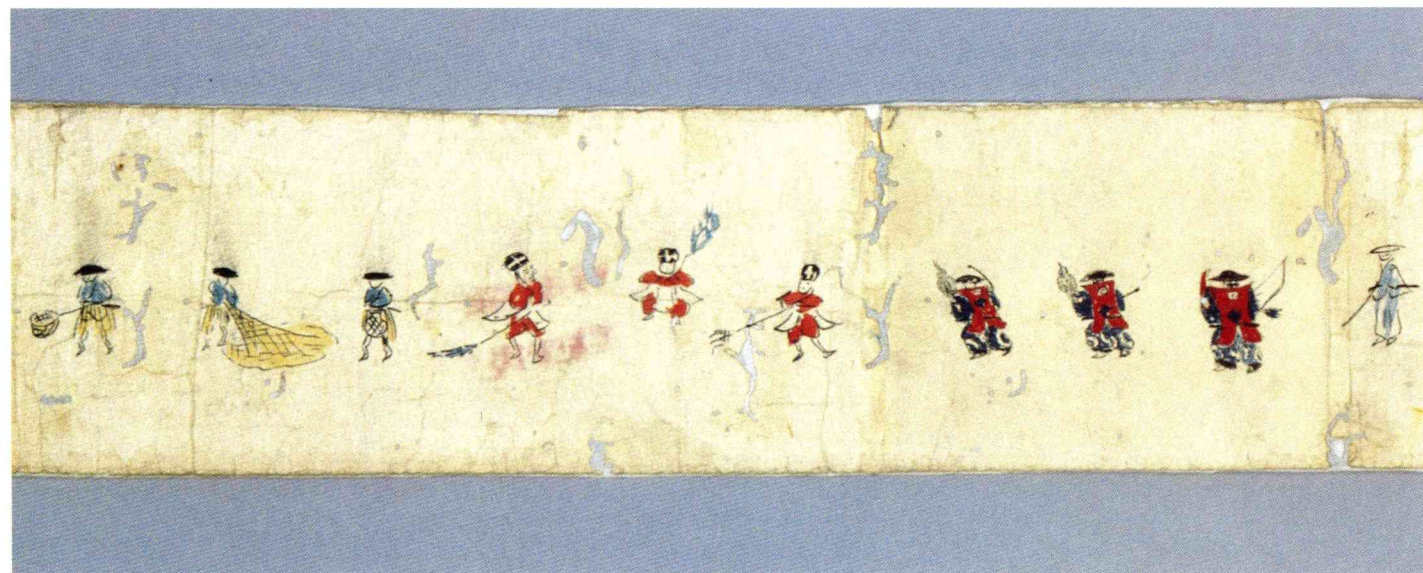


⑥

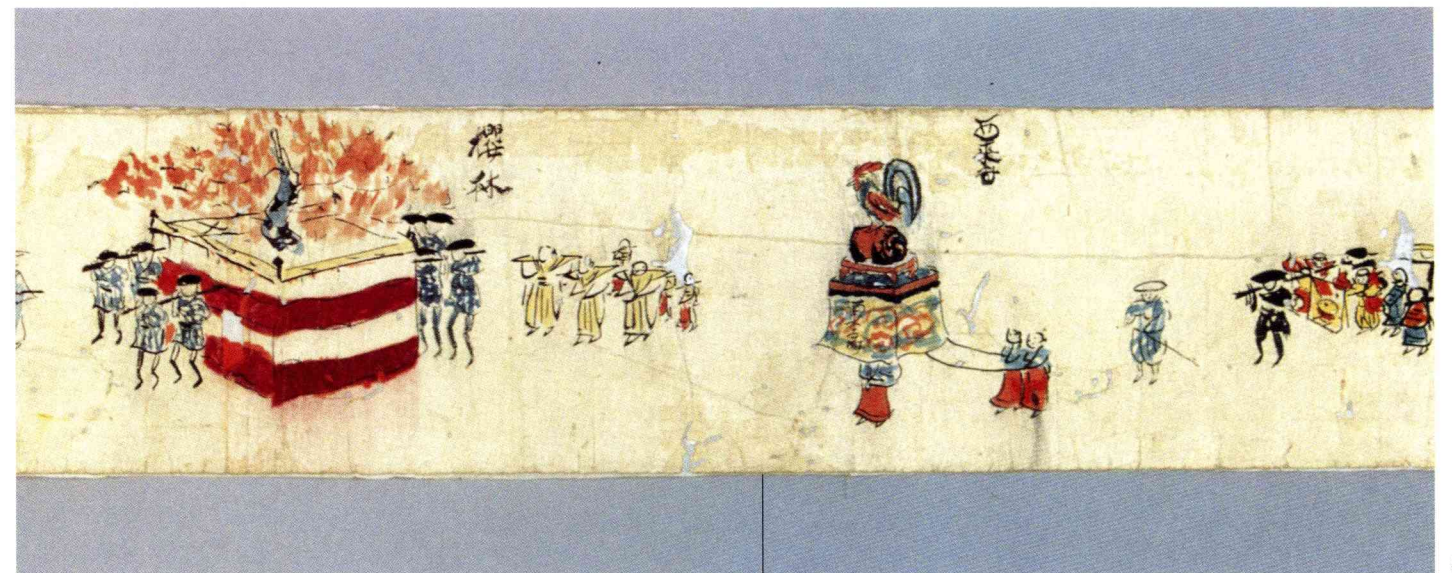


(4) 立町・西之番町・京口町による小鳥威し

⑦



⑧

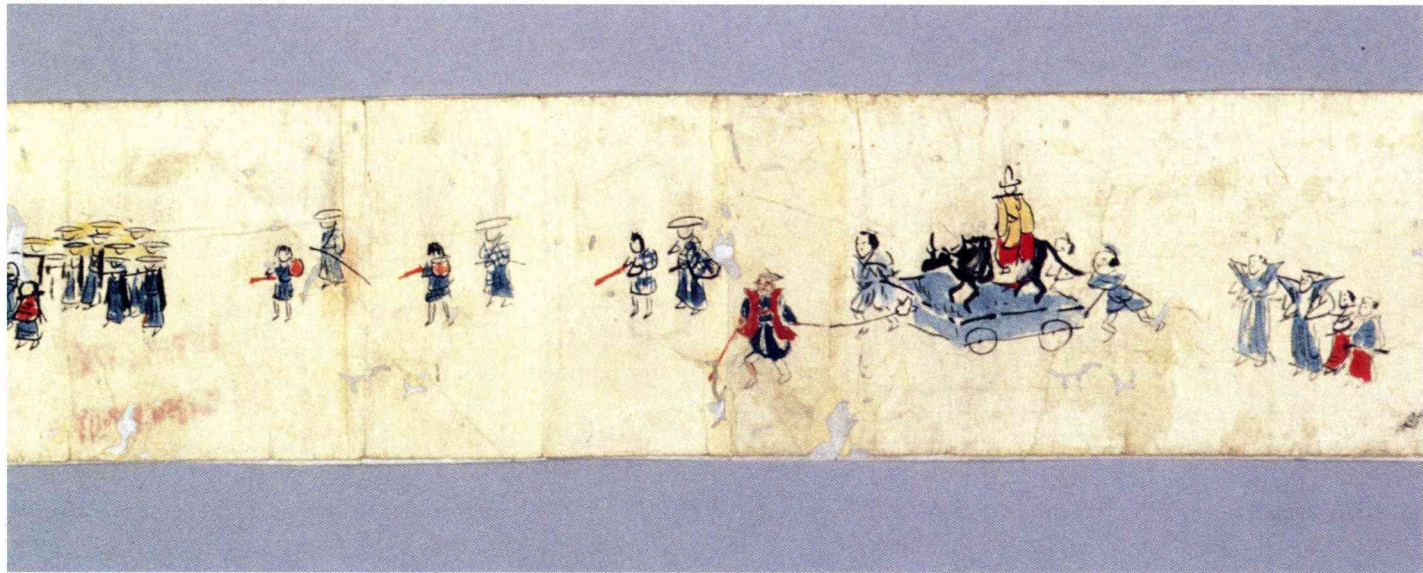


桜林

(5) 西来寺町による草刈

⑨





⑩



⑪

(6) 大門町による融



⑫

塩電



⑬

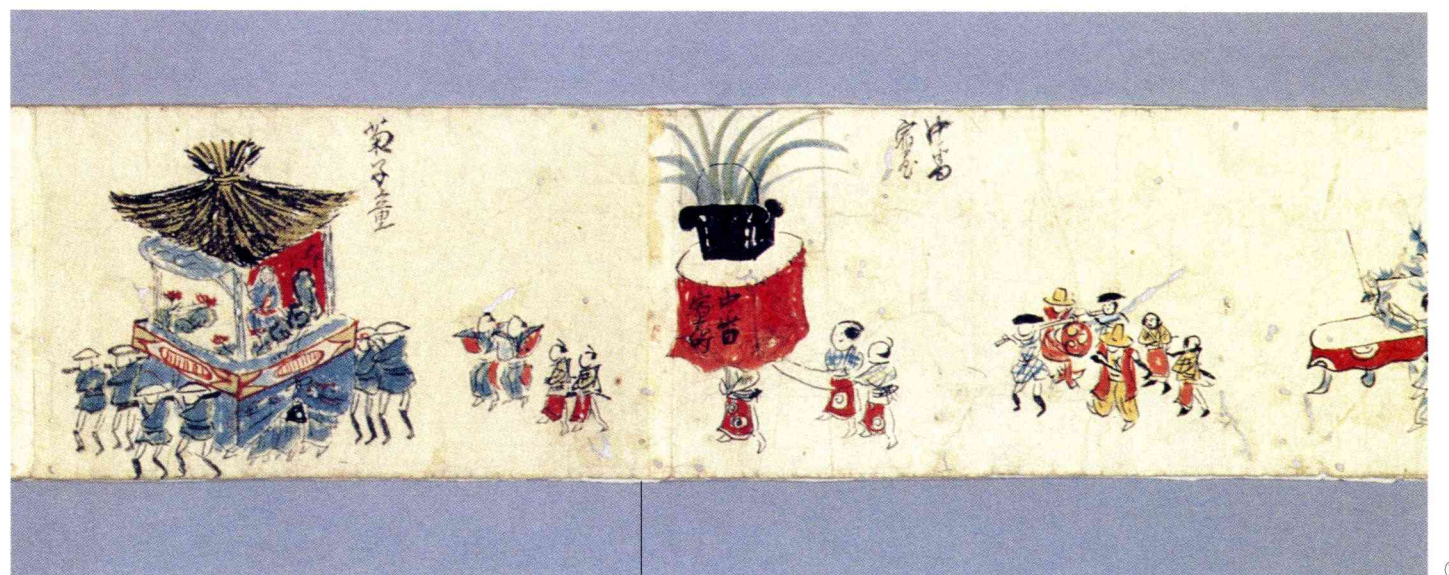
(7) 蔵町による菊子(慈)童



⑭

白菊

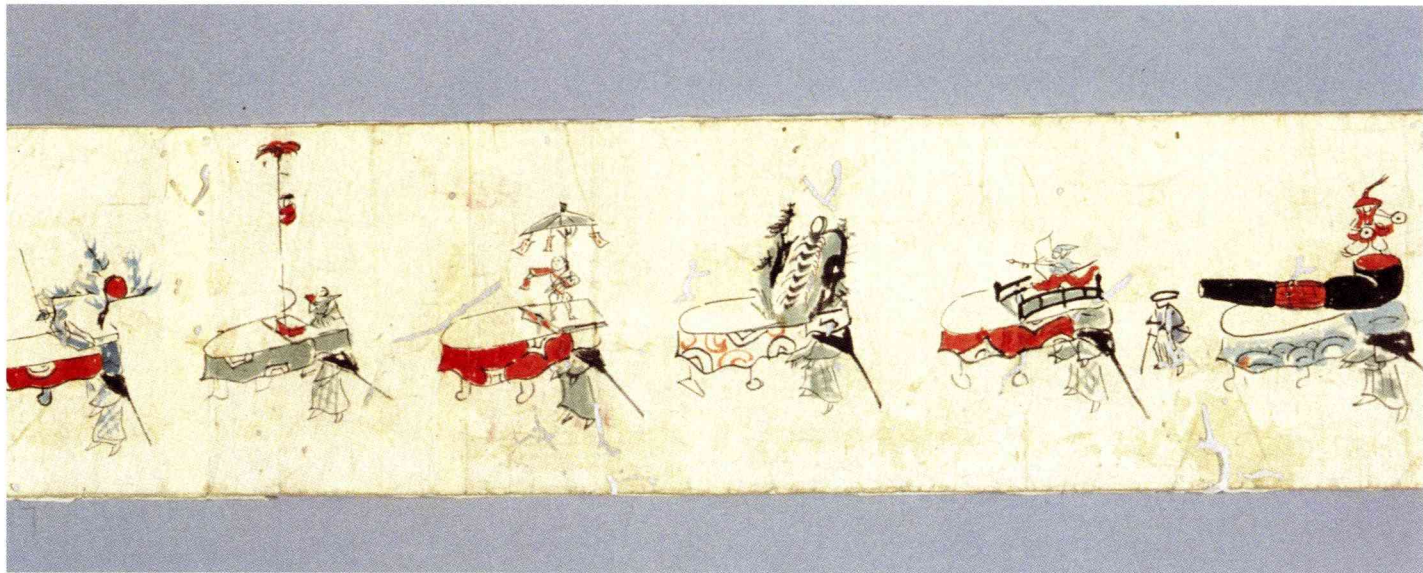
赤菊



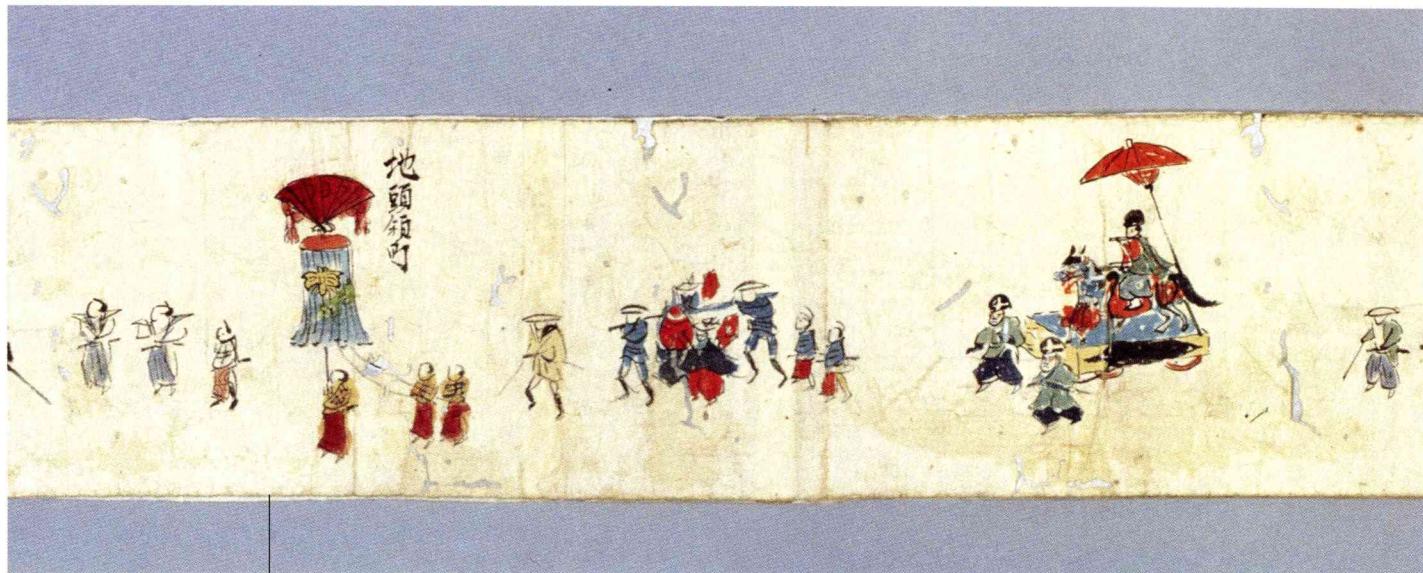
⑮

(8) 中ノ番町・宿屋町による聖





16



17

(9) 地頭領町による小督



18

(10) 南世古町・大世古町による小鳥威し



19

(11) 築地町による風流石橋



20

牡丹

(12) 山之



21

世古町による出世山姥

猿

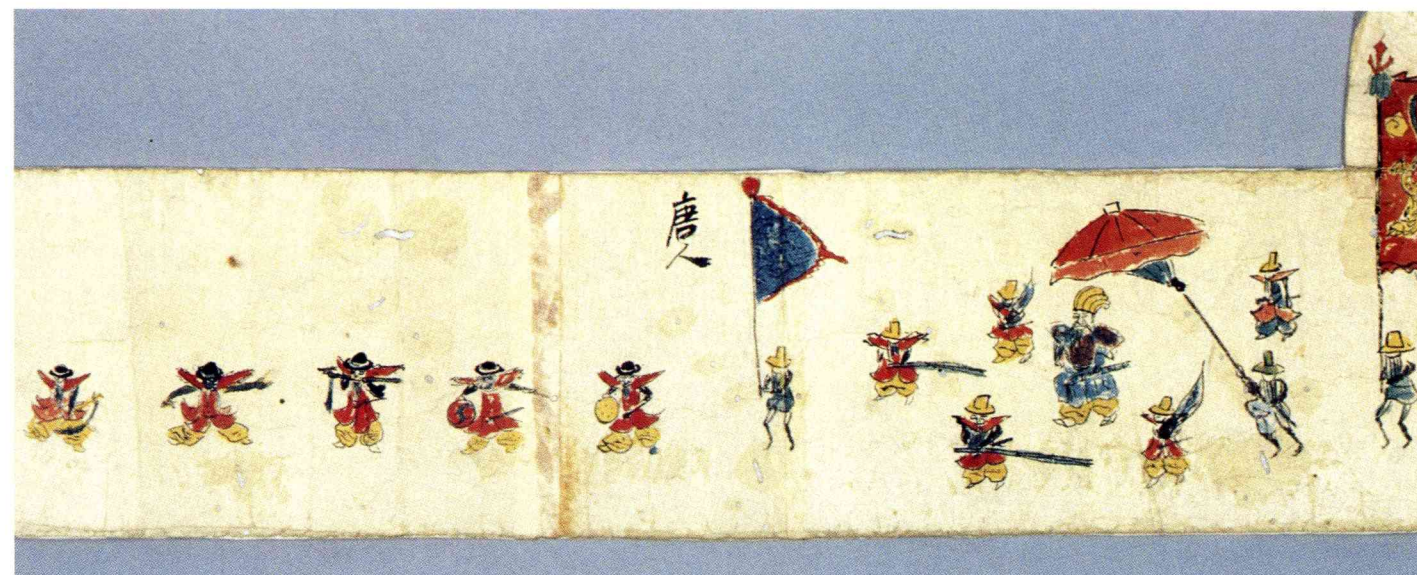
金時

山姥





(13) 分部町による唐人



23



(14) 新魚町による唐獅子

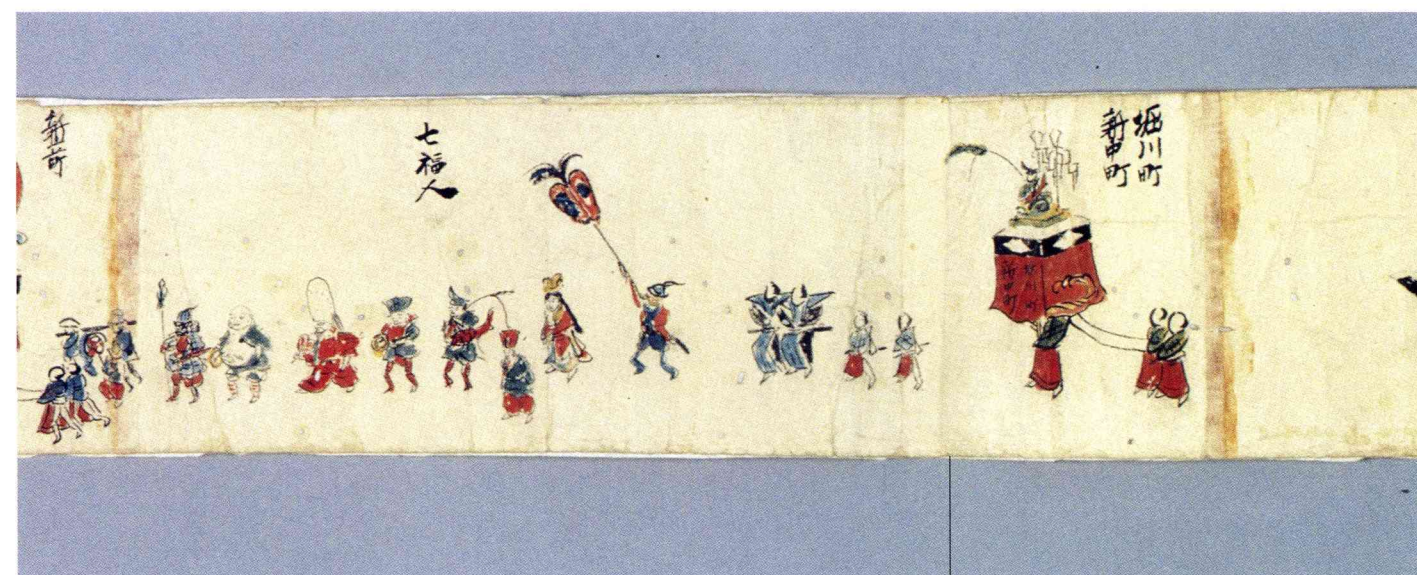


(15) 浜魚町による傘鉾

25



(16) 新立町に



よる七神人 (神)

(17) 堀川町・新中町による松風村雨

27

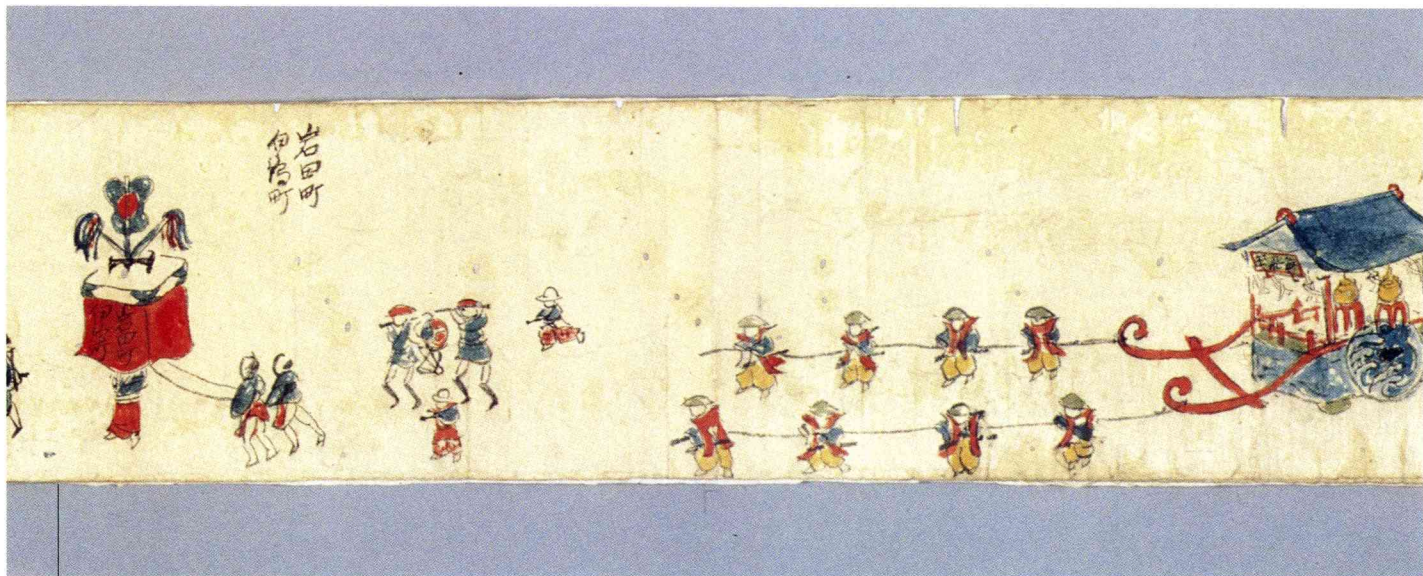




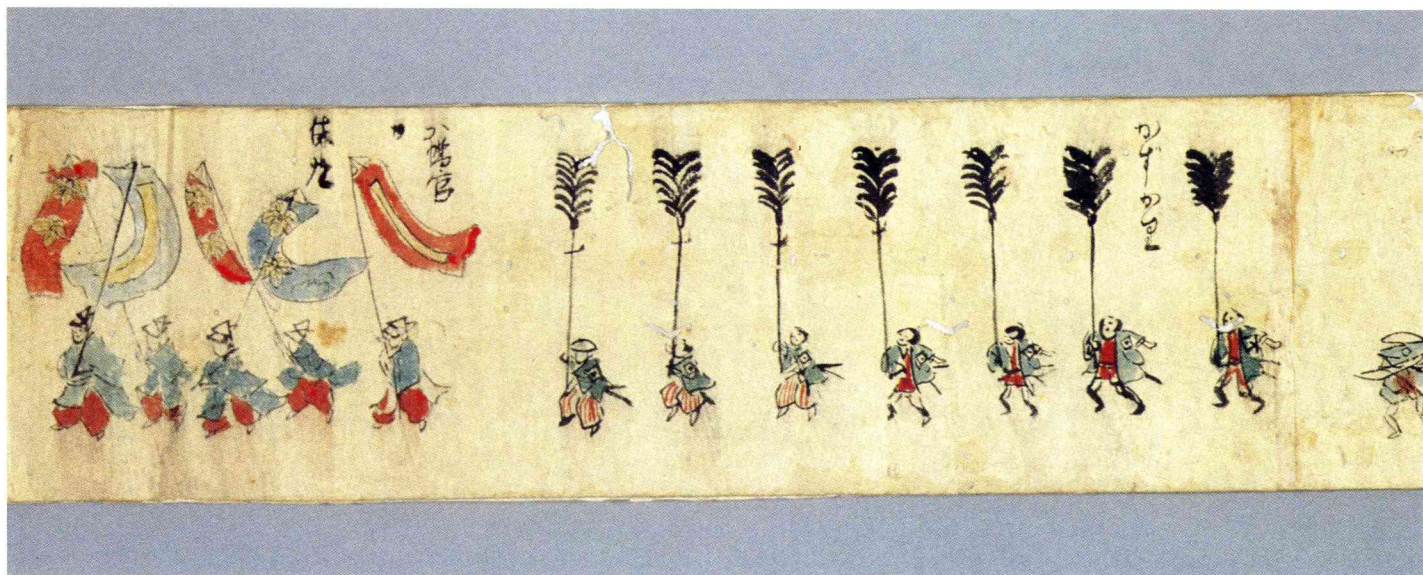
(18) 東町



・北町による龍宮

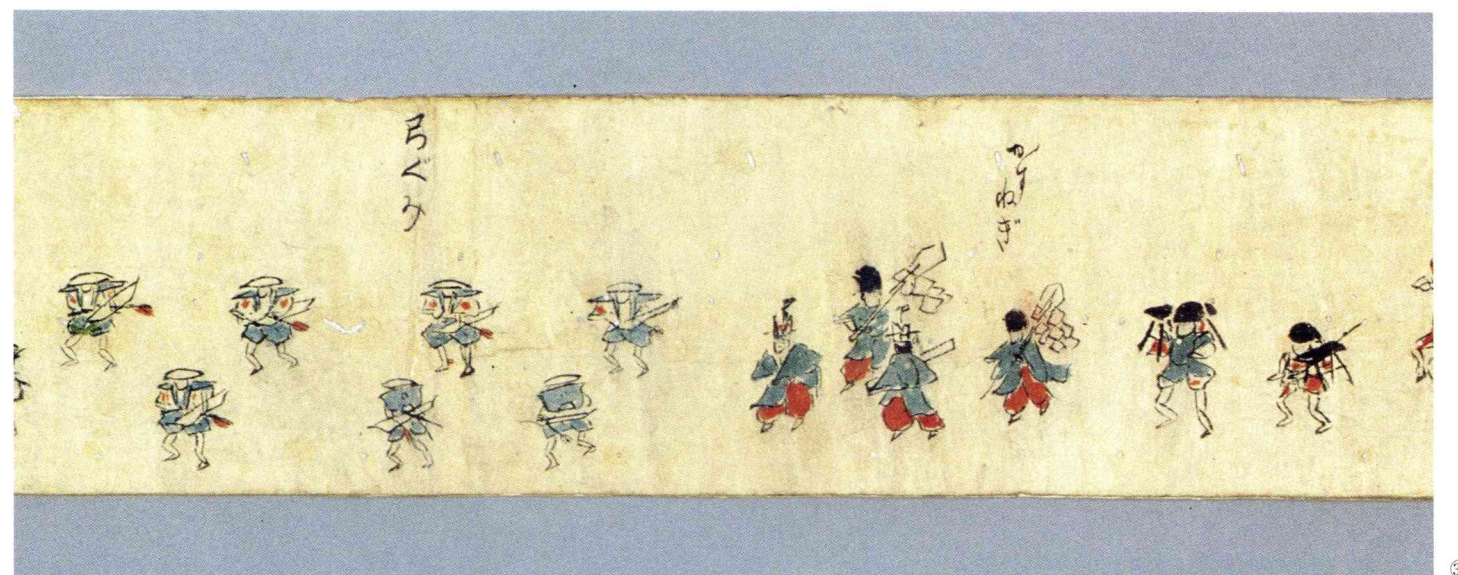


(19) 伊予町・岩田町による神功后皇（皇后）



鐘

かずかり



弓組

かすねぎ（禰宜）





市（巫女）

銭箱

くすねぎ

八幡宮神輿

③4



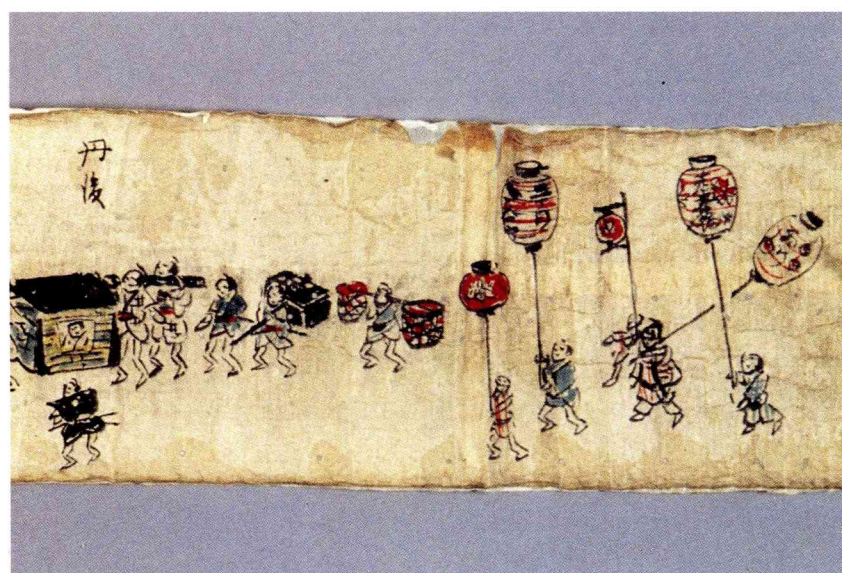
口取

獅子

別当寒松院

神主丹後

③5



③6



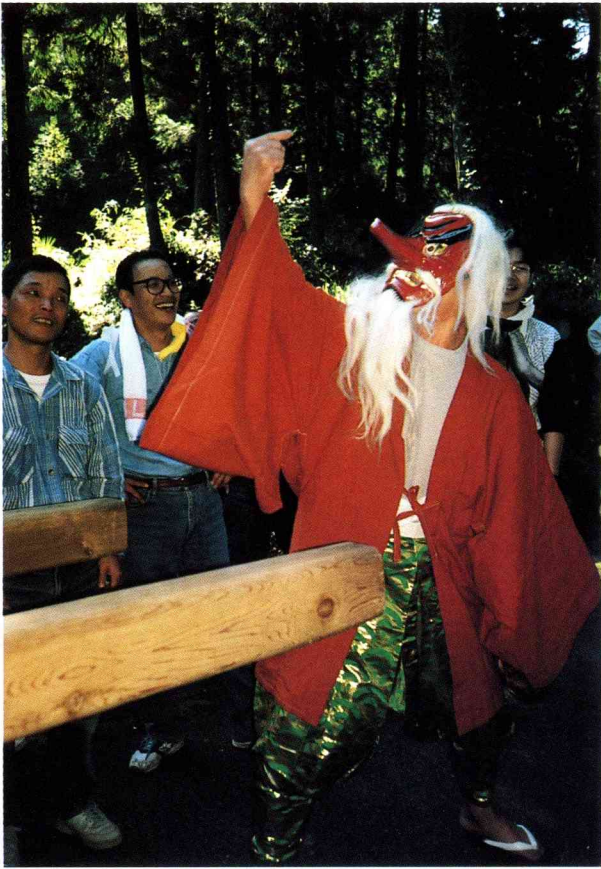


写真 2



写真 1



写真 4



写真 3





②10月9日 甘酒行事 早朝、甘酒行事のために拝殿に集合した頭人。



①10月9日 甘酒行事 早朝、御上神社に供えられた各頭人からの御供(メズシ・青漬・甘酒)。中央に見えるのは鯨の代わりに供えられた魚(里芋の葉の上に置く)。



④10月9日 甘酒行事 神社に保管してあるずいき神輿の台を家に持って帰る。



③10月9日 甘酒行事 神事後、神社の社務所でずいき神輿に付ける相撲を取っている猿の人形を受け取る頭人



⑥10月11日 湯立て 頭人宅の神棚



⑤10月11日 湯立て 頭人宅の床の間に作られた棚と供え物。





⑧10月11日 湯立て 湯を沸かして祝詞が読まれた後、床の間前で頭人も入って神事が行われる。



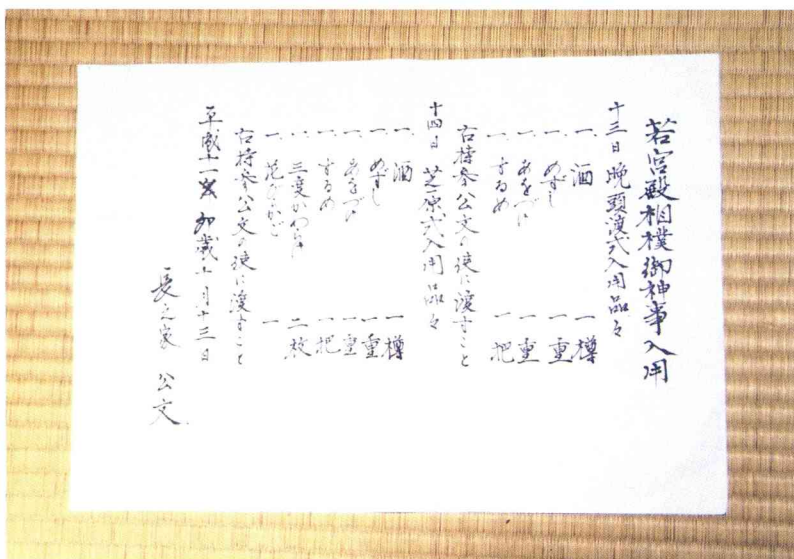
⑦10月11日 湯立て 頭人宅の台所横での神事。もとは竈の行事であったが、現在は竈のある家はないので台所等で湯を沸かして行う。



⑩10月13日 頭渡し 公文の家で行われる頭渡しの行事。出席者は公文の他、今年の頭人、翌年の頭人、翌々年の頭人である。写真は長之屋の頭渡しの様子。



⑨10月13日 頭渡し 午後七時頃から各公文の家で頭渡しが行われる。出席するために提灯持ちを連れて家を出る頭人。



⑪10月13日 頭渡し 頭渡しの朝、各公文から頭人宅に配られる書き付けのひな型。写真は長之屋のもの。

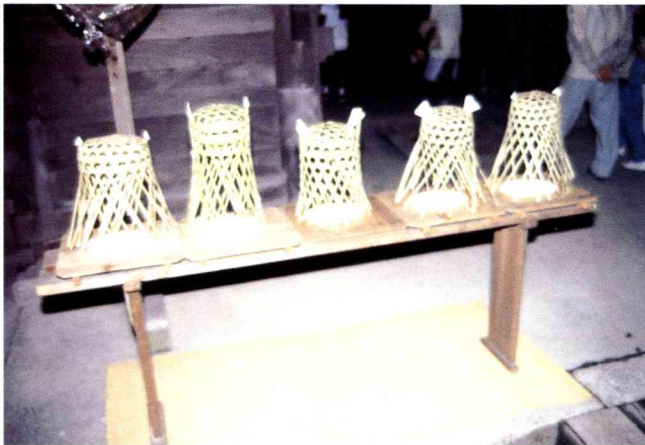




⑬10月14日 本祭 楼門前に一旦、各頭人はずいき神輿を置いて御祓いを受ける。



⑫10月14日 本祭 頭人宅から神社に出発するずいき神輿。先頭は子供が努める竹を持つ露払い。



⑮10月14日 芝原式 芝原式の前に各頭人が持参した花びら籠と花びら餅。楼門前の台の上に置かれる。



⑭10月14日 本祭 神事のの前にずいき神輿を拝殿に置き、その前に頭人が座る。



⑰10月14日 芝原式 東西公文からの来年の頭人の書き付けが総公文（長之屋公文）に渡される。

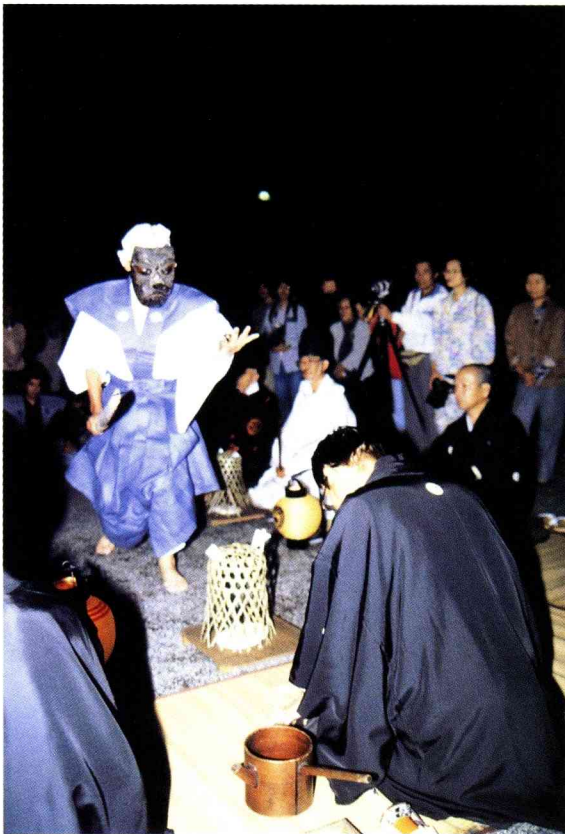


⑩10月14日 芝原式 公文と頭人の前に花びら籠と花びら餅が置かれる。





⑮10月14日 芝原式 猿田彦の面を被り矛を  
たばさんで登場した宮仕。



⑯10月14日 芝原式 矛で突いた後、鼻の下に  
一度左手をつけ何かを飛ばす真似をする宮仕。



⑰10月14日 芝原式 長之屋の公文を矛で突く真似を  
する宮仕。



⑱10月14日 芝原式 芝原式の最後に行われる子供  
の相撲。





㉒ 5月21日 春祭り 平成11年から5月第3週の日曜日に行われるようになった。拝殿に置かれた神輿。中央が大宮、奥が若宮、手前が十禪師。



㉔ 5月21日 春祭り 本社を出発する渡御。旗を先頭に露払いの子供2名、猿田彦、御供持ちの順。かつての面影はない。



㉓ 5月21日 春祭り 午後から行われる本社前での神事。現在は子供神輿が中心になっている。



㉖ 5月21日 春祭り 御旅所三大神での神事。



㉕ 5月21日 春祭り 御旅所三大神に入る一行。





②⑧ 東林寺の集落と三上山



②⑦ 御上神社の境内を流れる神の井



③⑩ 大中小路の集落 後方に見えるのが三上山。



②⑨ 前田の集落 中央に見える大きい屋根の建物はかつての西座の公文を努めた照覚寺。

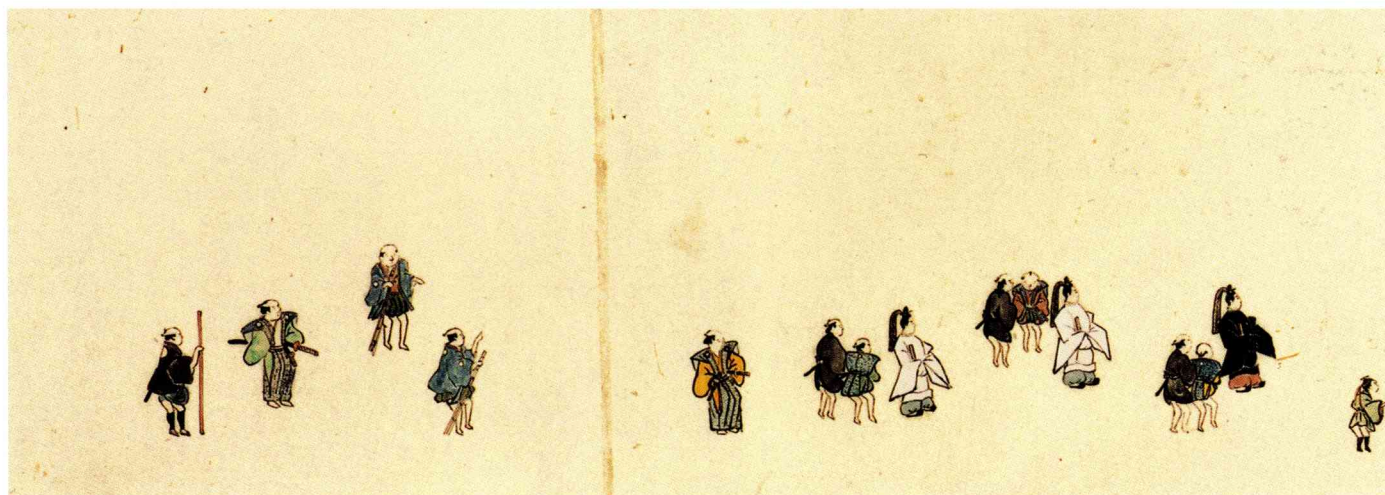
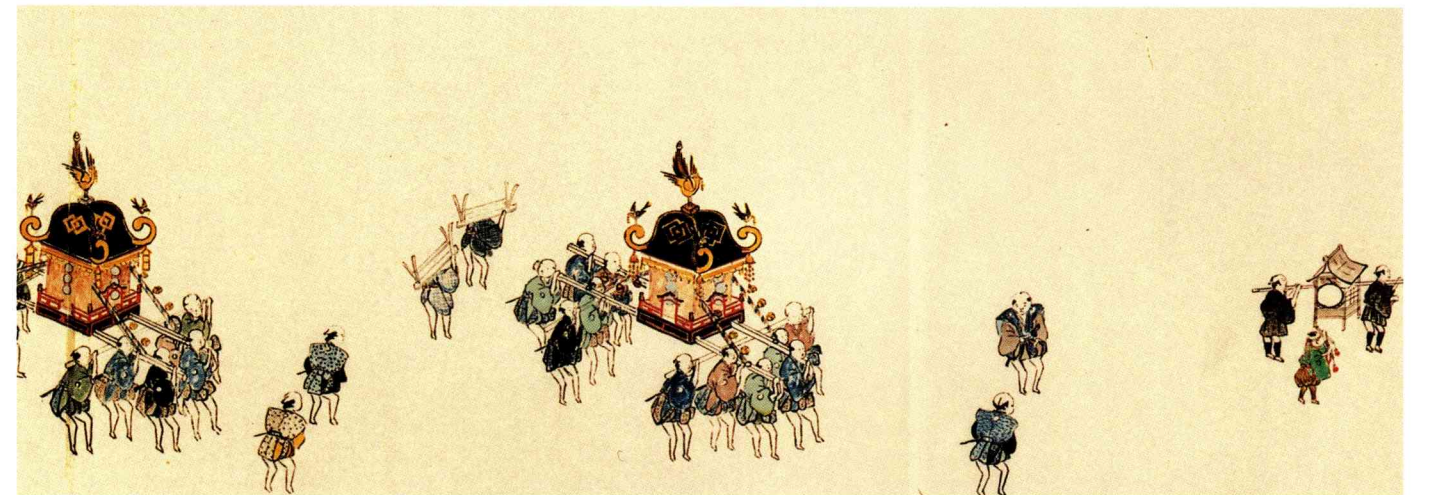
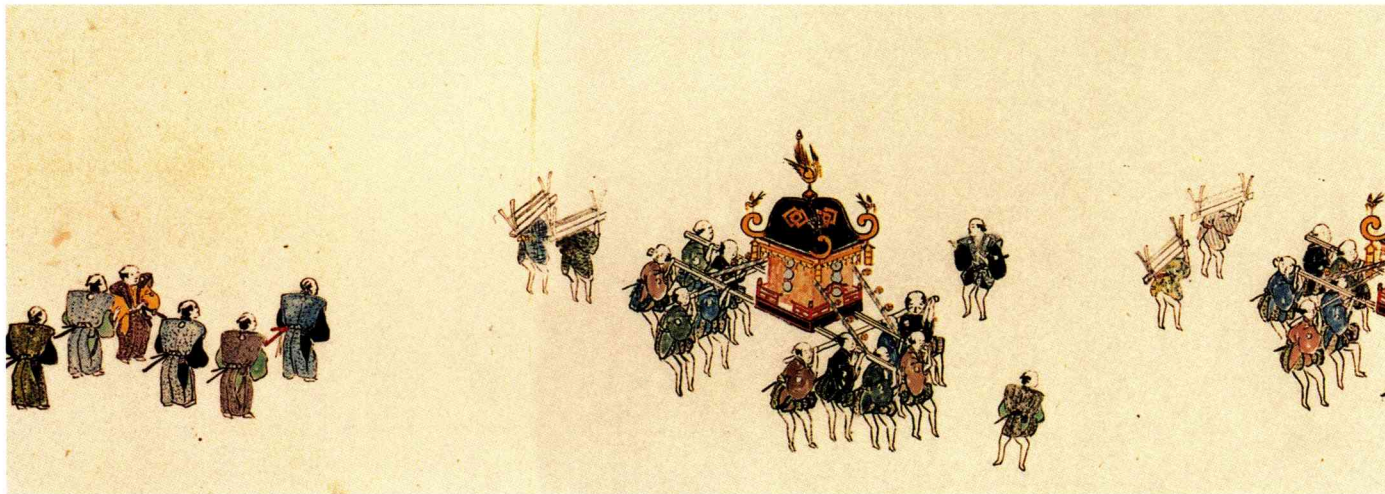
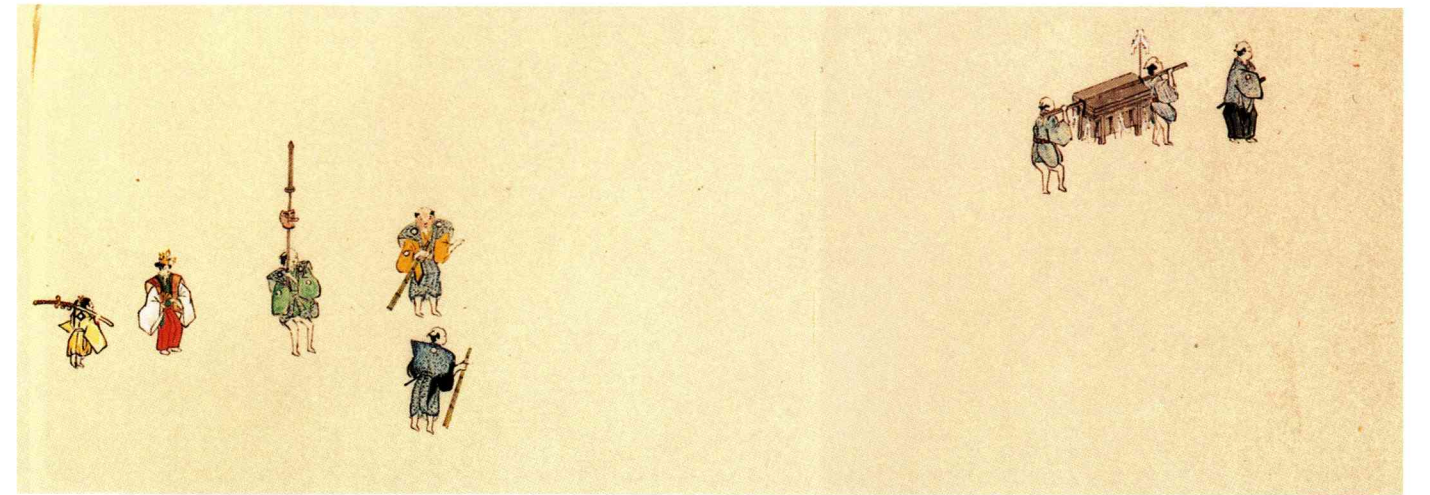
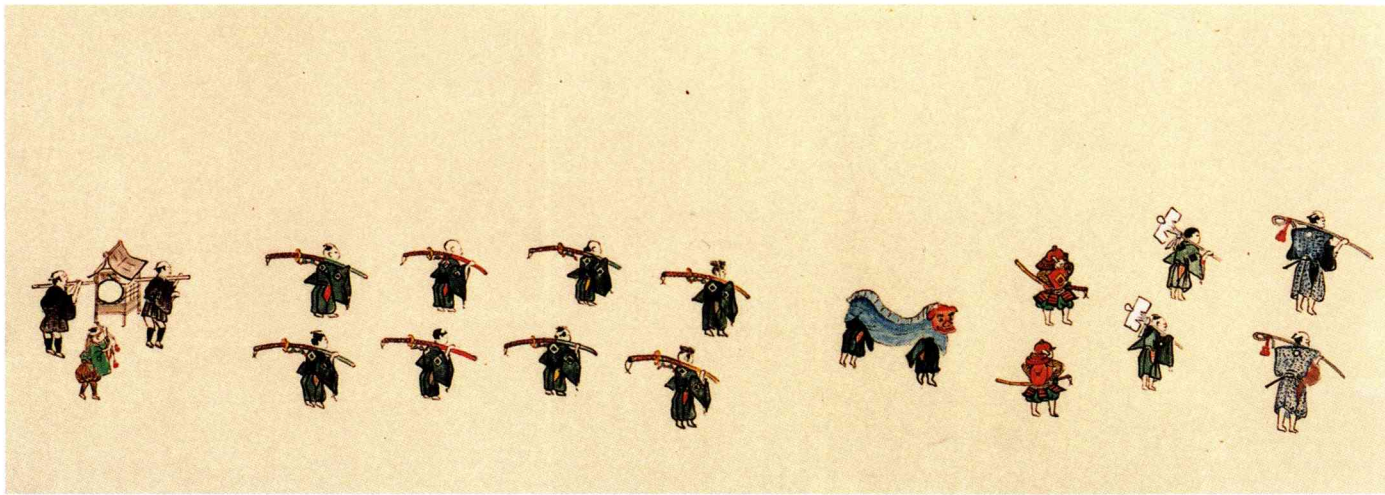


③② 北桜の集落と三上山 三上とはちょうど三上山の反対側に位置する。



③① 妙光寺の集落









①一族衆と蛇縄 今村の頭屋の一族衆によって製作された蛇縄。



④直会と老長たち 老杉神社拝殿において、8か村の老長の前に撤下された神饌が配膳される。そして直会が厳粛に行われる。



②御供を搗く 頭屋宅にて、設営されたフネの上で独特のウス・キネを用いて御供が激しく搗かれる。



③神饌運搬と社参 調製された特殊神饌を一族衆が担いで神社へ奉納する。